

充実の支援で楽しく子育て //

こうべ子育てナビ

VOL. 74

子育ては、社会で支える時代へ。家庭で抱えすぎない、パパやママのための子育てコラム。

今月の記事の対象は

出産まで 新生児 乳幼児 小中高大

「高校生等通学定期券補助」が始まります！



子育て世帯においては、高等学校などへの進学以降、経済的負担が大きくなっています。特に遠方への通学の場合、負担になってくるのが通学定期代。そこで、子育て世帯の負担を軽減し、子どもたちの進路の選択の幅を広げるため、高校生等の通学定期代が一定額を超える場合に、その一部を補助する制度を9月から開始します。

ここが気になる Q&A

よくある質問など 詳細はこちら



Q: 市外や私立の学校も対象ですか？

A: はい。対象となる高校は市内に限りません。公立も私立の学校も、対象となります。

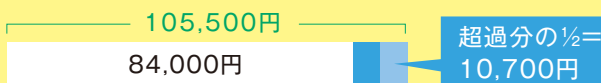
Q: 令和4年8月から6カ月定期券を購入した場合は、どうなりますか？

A: 9月1日以降の定期代のみが対象となり、補助対象額は日割りで計算します。

申請期間 令和5年1月4日(水)～4月14日(金)

対象期間 9月1日(木)～令和5年3月31日(金)

補助額 神戸市在住で、対象期間中の通学定期代の合計が84,000円を超える場合に、超える部分の2分の1を補助
例) 105,500円の場合
(105,500円-84,000円)÷2⇒10,700円を補助



申請方法 電子申請(e-KOBE)で受け付け。保護者が申請してください。書面での申請が必要な場合がありますので、詳細はホームページを確認してください。



必要書類 対象期間に定期券を購入していることが分かる定期券面(実物)の画像の添付が必要です。写真を撮って申請まで保存しておいてください。



[問] 市行政事務センター
高校生等通学定期券補助係
(☎291-5952 ③381-6675)



食文化を神戸の魅力に!
豊かな農漁業の魅力を産地直送します

今月の食

神戸産ハモ



食都神戸の 詳細はこちら

まだまだ旬真っ盛り、 「名残ハモ」で季節を感じよう!

夏の風物詩で知られるハモ(鱧)ですが、梅雨ごろから11月までが旬。夏のハモはあっさりとした味わいである一方、秋に獲れるハモは産卵後に肥えて脂がのって旨みが濃く、「名残ハモ」と呼ばれています。神戸の海は小魚や貝類が多く好漁場のため、実はハモの産地です。明石海峡の激流で育つため、身が締まり食べごたえがあるのが特徴で、神戸の新名物として広がってきています。市は、神戸で獲れる魚介類や漁業の魅力を発信し、地産地消を推進しています。



実は神戸は 豊かな漁場 だった!

神戸の海を楽しく 学べるマップを作成しています。

詳細は こちら



生産者さんからのイチ推し

おすすめは鍋、湯引き、天ぷらも

ハモ漁は、袋状の網を海底まで下ろして船で引っ張る「底曳網漁そこひきあみりょう」で行います。夕方から深夜2時まで、ハモがいそうなところを経験で探りつつ、網入れを繰り返します。頭が小さく、首周りが太いのが美味しいハモの特徴。鍋や湯引き、天ぷらで食べるのがおすすめです。神戸のハモをたくさんの人に知ってほしいですね。



底曳漁師 幸内義宜さん